



発行日
2023.5.1

第175号

西讃地域の多様な担い手紹介②9

～若手農業者～



観音寺市豊浜町和田 川上 真弘さん(49歳)

川上真弘さんは、農外企業に就職していましたが、父親が体調を崩したことを機に、家の農業をどうするか家族で真剣に考えるようになりました。

小さい頃から農作業を手伝い農業に慣れ親しんでいたことや、近所に気軽に相談できる仲間がいたことから、就農を決意し農業大学校での研修を経て平成28年に就農しました。

就農当初は、畑地のナシ園と柑橘園を引き継ぎ、実家の中古機械を活用して経営していましたが、その後、農地機構から農地を借り入れて水稻や露地野菜にチャレンジするのに合わせて、補助事業や制度資金等を活用して、スピードプレイヤーなどの省力化機械やブドウの栽培ハウスを導入しました。

現在は、ナシ60a、レタス80a、水稻90a、ブドウ10a、柑橘10a、タマネギ10a、生姜5aの7品目を作業のピークが重ならないよう栽培しています。

豊浜町和田地区は、県下有数のナシの産地ですが、高齢化により栽培を中止する方も増えており、これらの園地を引き受け、ナシの新植と併せてジョイント栽培を導入し、早期成園化や管理の省力化に取り組んでいます。

「今後は、ナシ、ブドウ、柑橘等の生産技術向上により高品質果実の生産を目指しており、果樹栽培に集約していきたい」と今後の抱負を語ってくださいました。

高品質な香川県産麦を生産しましょう!!

麦類の収穫適期は、3～4日と非常に短いです。刈り遅れは、①「小麦は脱粒」、②「はだか麦は程折れ」による減収・品質低下を引き起こします。事前準備を行い、適期収穫に努めてください!

小麦「さめきの夢 2009」



穀粒水分：25%程度



収穫適期

穂の様子 (写真左)

- ・下位粒のみやや水分が残る。
- ・穂先がやや曲がる。

粒の様子 (写真右)

- ・ほとんどの粒が完熟し、不透明部分(黄色)が増えてくる。

はだか麦「イチバンボシ」



穀粒水分：20～25%程度



収穫適期

穂の様子 (写真左)

- ・下位の粒の水分が抜ける。
- ・穂首が黄変し、やや曲がる。

粒の様子 (写真右)

- ・ほとんどの粒が完熟し、硬くなっている。

土づくりのため、麦わらをすき込みましょう!!

「麦わら」すき込みは、ほ場の排水性・保水性・保肥力向上に有効です。また、環境保全や健康被害を避けるため、野焼きはやめましょう。



すき込み利用のポイント

- ① 麦収穫後、速やかに荒起こしを実施する。
- ② 代かき2日前に入水し、わらに水をしみこませ、浮きにくくする。
- ③ 代かきは、極浅水状態(土が7割見える)、ロータリーの回転数を低速にして、わらを土に練り込む。
- ④ 田植後、ワキ(ガス)が発生する可能性があるため、除草剤散布7日後以降に田干しを実施する。



すき込み

R5年産水稻を作付けしてください!!

香川県産水稻の面積は、年間300～500ha減少しています。このまま生産量が低下し、需要量に応じた供給ができなければ、「香川県産米」としてのブランド力が低下します。そのため、R5年産水稻の作付けをよろしくお願いいたします。

受賞おめでとうございます

第59回香川県
花き品評会
入賞者・入賞品目

農林水産大臣賞



一般切花・花木部門
「ランキユラス」
鈴木 敦士 様
(三豊市)



キク部門(立毛)
「精興栄山」
合田 俊徳 様
(観音寺市)

賞	品 目	受賞者氏名	住 所
農林水産省農産局長賞	鉢物・観葉植物部門 (立毛)「ポインセチア」	(株)三豊園芸 様	三豊市
中国四国農政局長賞	一般切花・花木部門 (立毛)「ランキユラス」	入江 偉夫 様	観音寺市
R S K山陽放送社長賞	一般切花・花木部門「マーガレット」	野田 敏夫 様	三豊市
K S B瀬戸内海放送社長賞	一般切花・花木部門「ランキユラス」	石井 秀一 様	三豊市
毎日新聞社賞	一般切花・花木部門「ダリア」	(有)曾根園芸 様	三豊市
農林中央金庫高松支店長賞	一般切花・花木部門「ランキユラス」	田尾 早伸 様	三豊市

■中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」奨励賞
下高瀬子どもすこやかボランティア・三豊市立下高瀬小学校 様

家族経営協定の調印式が三豊・観音寺の両市で開催される

家族経営協定とは、家族で取り組む農業経営の方針や家族の役割、就業条件、就業環境について家族みんなで話し合いながら取り決めるものです。今回は三豊市で3戸、観音寺市で3戸の農家が家族経営協定を締結しました。6戸のうち5戸は令和5年4月から認定新規就農者として農業経営を開始する期待の若手農業者と家族間の協定、うち1戸は経営継承を見据えて認定農業者の共同申請を予定している経営主と後継者間の協定です。

3月23日及び3月28日に行われた調印式では、立会人として出席した各市農業委員長と普及センター所長から激励の言葉が送られ、今回の調印式で、管内では延べ164家族で締結されました。今後も農業経営に関する家族の話合いが活発に行われるよう関係機関と連携して支援していきます。



三豊市の家族経営協定調印者



観音寺市の家族経営協定調印者

人事異動のお知らせ (令和5年4月1日付)

転出者の紹介 皆さん、お世話になりました。

高八 弘	(主席普及員：小豆総合事務所へ)	上原 啓介	(副主幹：東讃農業改良普及センターへ)
伊藤 周二	(主席普及員：中讃農業改良普及センターへ)	川西 勲	(副主幹：中讃農業改良普及センターへ)
小林 弥生	(主席専門指導員：農業革新支援センターへ)	高橋 秀彰	(教授：農業大学校へ)
岩井 正直	(副主幹：農業生産流通課へ)	高嶋 実咲	(技師：農業生産流通課へ)

※転入者は、本誌4面の「職員紹介」をご覧ください。